

第3次朝来市総合計画 基本構想たたき台

朝来市の良さ・強み

ソフト

人や地域のつながり、市民力の高さ

- ・地域力(地域コミュニティ、支え合い)
- ・福祉・子育て環境の充実
- ・シビックプライド
- ・人柄(柔軟・オープン・あったかい)
- ・まちとの関わりがある若者・子ども など

ハード

自然豊かでほどよく便利

- ・自然(農地、山林、生き物)
- ・歴史文化
- ・観光資源
- ・ネット環境
- ・道路(交通網、整備) など

これからの課題

- ・地域力が高いが世代交代が進まず、新しいことが生まれにくい
- ・移住者が増えているが、交流が少ない
- ・自然が豊かだが、受け継ぐ次世代が少ない
- ・ひと・自然・農業等のポテンシャルはあるが、伝える力が弱く活かされてない
- ・市外への交通アクセスは良いが市内の移動が不便 など

時代の捉え方

- ・人口減少時代への移行
- ・持続可能な循環型経済の仕組みづくりへ
- ・社会規模の縮小と新たな価値観(量より質、競争より共生、消費より循環、所有より共有)
- ・地域活性化の概念が、地域振興や人口増加から、主体的な活動の量や質、関わる人の主観的な幸福度の上昇にと変化
- ・環境と共生しながら社会経済を発展させていくという成熟の時代へ(SDGs)
- ・Society5.0の実現

第2次総合計画

あなたが好きなまち 朝来市



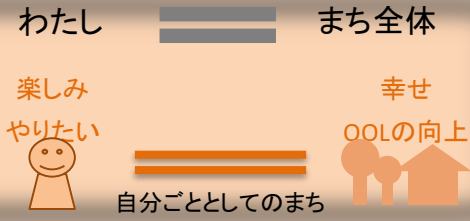
将来像

【A.気持ち】

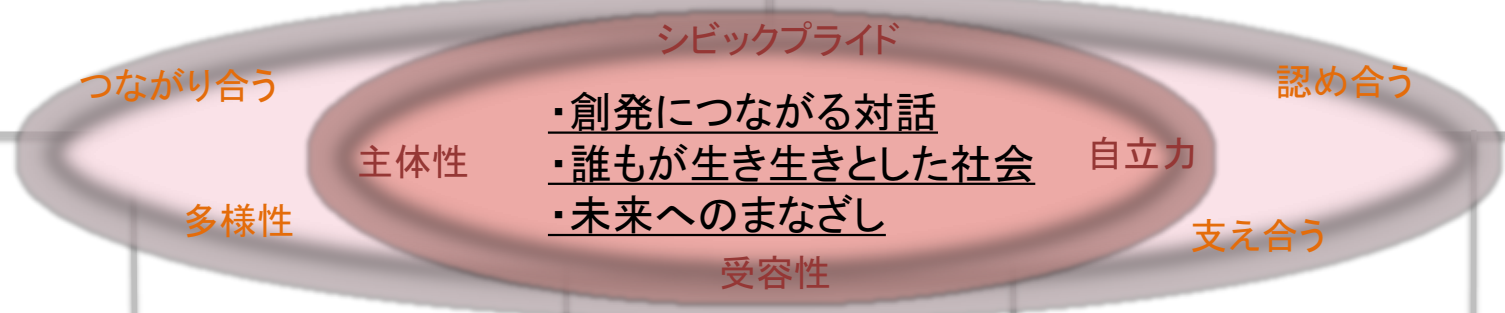
- ・わたしの幸せがあなたの幸せ、まちの幸せに
- ・私たちの楽しいは朝来市の楽しい・幸せ
- ・楽しい、おもしろい、笑顔、ごきげん
- ・楽しい未来

【B.まちの姿】

- ・次世代へつなぐ、未来を見せる
- ・このまちで子どもを育てたい、子どもたちの未来
- ・次世代へつなぐ朝来市らしさ(自然環境、人とのつながり、地域力)



基本理念



まちづくりの目標

- ①多様な学びで「やりたい」にチャレンジでき、未来をつくる「人」を育む
 - ・誰でも、いくつになっても、やりたいことにチャレンジ
 - ・主体性とシビックプライドを育む 人材育成・教育
 - ・まちにも生きる生涯学習・スポーツ
 - ・地域や自然を生かした学び
 - ・多様性を認め、尊重し合う社会
- ②人と自然が共生し、地域で循環する産業を確立する
 - ・あるもの(空家・農地・文化財・自然環境)を活かす付加価値づくり
 - ・若者が帰りたと思える仕事
 - ・多様な働き方
 - ・攻めと守りの農林畜産業
 - ・つながりが生まれる観光
 - ・地域内経済循環
 - ・市外活力(人・企業)の誘引
 - ・次世代につなぐ環境保全
- ③多様なつながり・交流を育み、地域力をより高める
 - ・多様な人が参加する地域コミュニティ
 - ・人と人、人と地域をつなぐ人や仕組み
 - ・共感とアクションにつながるインナープロモーション
 - ・協働によるまちづくり
 - ・まちを応援する関係人口
 - ・まちの仲間になる移住定住
 - ・未来につながる多文化共生
- ④誰もが居場所や役割を持ち、健幸で心豊かな暮らしを実感できる
 - ・一人ひとりが地域とつながる地域共生社会
 - ・地域での支え合い
 - ・地域ぐるみの子育て
 - ・どの世代も楽しい暮らし
 - ・誰もが居場所や役割がある地域社会(高齢者、障がい者、子ども)
 - ・健幸(健康)づくり
 - ・安心できる医療体制
- ⑤市民の暮らしを支える都市基盤の持続にみんなで備える
 - ・都市基盤(道路、橋梁、上下水道等)の維持管理・運営・更新
 - ・防災・災害時対応
 - ・暮らしを支える地域公共交通
 - ・公共施設の再配置
 - ・人口規模に応じた持続可能な都市基盤の再編準備
- ⑥市民とともにある、効率的で健全な行財政運営を実現する
 - ・対話等による開かれた広聴
 - ・伝えたいところに届く戦略的な情報発信・情報共有
 - ・健全な行財政運営
 - ・ICTの活用
 - ・互いの強みを活かした広域連携
 - ・市民とともにある職員の育成